

2022年

7月号

No.484



日本赤十字社 富山赤十字病院広報誌

やすらぎ

TAKE
FREE ご自由
にお持ち帰
り
ください

I N D E X

- インフォームド・コンセントと認知症
- 病理診断ってなあに？
- 7・8月健康教室等のお知らせ

インフォームド・コンセント と 認知症

～大切なことはなんだろう～

呼吸器外科部長

宮津 克幸 みやづ かつゆき

インフォームド・コンセント と 同意能力

医療において最も尊重されるのは患者さん本人への病気（病状）の説明と治療への同意です。一般にこのような医療側の行為を「インフォームド・コンセント」と言います。この行為によって、患者さんは自分の病気を正しく理解して治療内容の意図を明確にする事が出来るのですが、医療者側には専門用語や略語をなるべく使わず、わかりやすい言葉に言い換えて情報提供することが求められます。

さらに、医療者は患者さんが望む治療を理解し、その意志を尊重しつつ、本人・家族にとって最適な医療が受けられるように配慮しなければいけません。

そして、患者さん自身には医療者が説明した治療とはどういったものなのか、その目的やなぜその治療が提案されたのかを理解することが求められます。また、その治療法の利点や危険性、仮にその治療を受けないとどうなるのか、についても十分な理解が必要です。

その上で患者さんは、説明された内容を他の医療情報と比較検討して、その治療を受けるか・受けないかを決定します。この判断能力を「同意能力」と言います。



家族に委ねられる“同意能力”

医療行為に関する同意能力が失われていると医療側が判断したときは、ご家族から同意を得る事になるのが今の時代は珍しくありません。というのも厚生労働省の推計では現代の高齢者において80歳以上では約20%、85歳以上では40%以上の方に認知症があるとされているからです。認知症の患者さんの場合、（個人差はありますが）その理解力や意思決定能力に問題があることがあります。ですので認知症の患者さんに癌が見つかったら、治療選択は殆どのケースで家族に委ねられる事になります。

認知症患者さんと家族の“代諾”

厚生労働省は、平成30年6月に「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」を発表しています。ここでの意思決定支援とは、意思を形成するための支援、意思を表明することの支援、意思の実現のための支援と定義しています。このガイドラインは、家族以外の第三者が本人の意思決定を支援する際のガイドラインであり、身近な家族の支援方法についての詳細は記載されていません。しかし、基本的な支援方法やスタンスは家族であっても同じだと思います。このガイドラインでは、本人の意思を十分に尊重することを求めています。認知症患者さんの認知度には個人差があり、その意思の明確な確認方法はありません。認知症になる以前の健康時の本人の意思が記録されているものがある場合はそれを参考にできるのですが、そういったものもなく、本人の意思が分からないときには家族が本人に代わって決断する「代諾」が必要となります。

代諾を任された家族の苦悩

家族は認知症の進行がどうであれ、「十分な治療を受けさせたい」と思うのですが、その反面「過酷な治療に耐えられるのか？」「本

人の望みはどうか？」「癌の治療で認知症がもっと悪くなるのではないかな？」など、治療の代諾に決断がつかないのが現実です。そしてその内容が生死にかかわる問題になればなるほど、治療同意に関する家族の決断は迷います。

代諾を任された家族は、何を基準にどのような判断をすれば良いのか、決まったルールはないため、代諾者の決断が優先されます。担当医師の説明と考えが代諾者の決定に大きな影響を与えますが、担当医師の考えもまちまちですので、セカンド・オピニオンを尋ねるのもよいでしょう。

患者さん・家族にとって“大切なこと”

癌に限らず、治療同意の代諾は、家族に重い負担がのしかかります。私も普段の診療において、説明後に困惑されるご家族にたびたび遭遇します。医療者側もどの選択がベストなのか、分からないこともあります。そして、選択された結果に対してあとになって悔やむ人もおられると思います。

ですが、大切なのはその後の患者さん本人やご家族への「心のケア」だと思っています。

患者相談窓口のご案内

窓口では、患者さんと家族が安心して療養していただけるよう、様々な相談を受け付けております。心配なこと、お困りのことなどございましたら相談ください。

窓口受付：やすらぎホール

受付時間：午前8時30分～午後5時まで

QRコードを読み取ると当院ホームページにつながります

セカンド・オピニオン
外来について



がん相談支援センター
について



患者支援センター
について



病理診断ってなあに？

病理検査課 佐賀 良子

病気

を調べるには患者さんからの問診、画像検査、採血など様々な方法があります。

その方法の一つとして病理診断があります。

病理診断とは、病（やまい）の理（ことわり）を知ること。つまり病気の本態、原因、転帰を調べることです。

病理診断

では患者さんの病変・病気からとられた組織や細胞で顕微鏡標本をつくり観察し、病変の種類、良性か悪性かの判断を行います。結果は各診療科の先生に報告され、患者さんの治療に生かされます。

組織診

例えば、内視鏡医が見つけた病変部から採取（生検といいます）された小さな検体や、手術で切除された検体から、顕微鏡標本をつくり病変の種類、良悪、どの程度病気が進んでいるかなどを顕微鏡を使って確認します。



細胞診

痰や尿などを顕微鏡で調べてがん細胞があるかどうかを判断します。子宮がん検診では、子宮頸部から細胞をこすって調べます。のどや乳房にしこりがあると細い針を刺して吸引し、とれた細胞の中にがん細胞があるかどうかを調べる場合もあります。

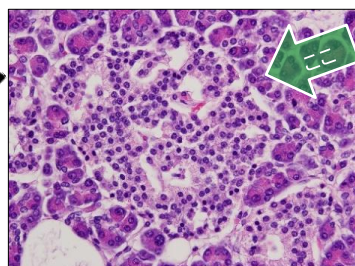
Look Together



病理診断医

前田 宜延 まえだ よしのぶ

病理医と一緒にのぞいてみよう！



顕微鏡で観察するには人工的に着色し、病変の観察を行います

膵臓の病理標本です。中央の円となっている部分、ここがランゲルハンス島です。血糖値のコントロールを行うインスリンなどのホルモンを分泌する細胞です。これが腫瘍になると、キレイな円である形状は崩れ、インスリンを過剰分泌してしまいます。

腎臓の病理標本です。丸くキレイな模様となっているのが糸球体です。血液中の老廃物や塩分をろ過し体の外に尿として排出する働きをしています。ここが炎症をおこしてしまうと（腎炎）、細胞が増えすぎたり無くなったりし、キレイな模様が崩れます。正常な働きができなくなり、尿に血が混じることもあります。

組織、細胞の採取は、各診療科の先生（内科医、外科医、産婦人科医など）が行います。採取された組織からつくられた標本を顕微鏡で観察して診断するのは病理医です。各診療科の先生と病理医でスクラムを組み、日々より良い診療を行うことを目指しています。

理念

人道・博愛の赤十字精神にもとづく良質で安全な医療の提供

基本方針

- 1 患者さん中心の医療を提供します
- 2 より安全で高質な医療の実践を目指します
- 3 地域医療に貢献する病院を目指します
- 4 災害救護ならびに医療社会奉仕に努めます
- 5 次代を担う医療従事者を育成します
- 6 働きがいのある病院運営に努めます
- 7 健全経営の維持に努めます

富山赤十字病院

患者さんの権利

病院の「理念」・「基本方針」にもとづき患者さんが安心して医療を受けることができるよう、以下の権利を大切にします。

- 1 個人の尊厳が守られる権利
- 2 プライバシーが保障される権利
- 3 適切な情報と説明を受ける権利
- 4 自ら医療行為を選択する権利
- 5 適切で最善の医療を受ける権利
- 6 子ども達が分かりやすく心のこもった医療を受ける権利

富山赤十字病院



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

富山赤十字病院

〒930-0859 富山県富山市牛島本町2-1-58 令和4年7月1日発行
TEL: 076-433-2222

発行責任者 高畑淳一
編集責任者 桑間直志

7月・8月健康教室等のお知らせ

患者さん、ご家族の方、お気軽にご利用ください。【お問い合わせ】電話(076)433-2222 医療社会事業課(内線 2322)

名称	内容	実施日 祝祭日除く	時間	場所	担当	申込窓口
やすらぎの会	ミニレクチャー 肝臓がん・膵臓がんについて (講師:肝臓内科医師)	7月20日(水)	14:00～14:30	3階講義室	がん相談スタッフ	申込不要
		8月開催なし				
ライラックの会	血液内科疾患 患者・家族・医療スタッフの会	当面の間 中止				
クロスサロンとやま	がんピアサポーターが自らの体験を活かし、がん体験者やそのご家族と同じ立場で不安や悩みなどについて、安心して語り合う交流サロンです	8月17日(水)	13:30～15:30	3階講義室	がん相談スタッフ	申込不要
がん相談支援センターでは、がんに関する相談をお受けしております。お気軽にご相談ください。						
糖尿病指導コース (要申込)	運動の話と実技(実技は主治医の許可を受けてください) 検査の話 食事の話	7月12日(火)・26日(火) 8月9日(火)・23日(火)	14:00～16:00	3階討議室	理学療法士 検査技師 管理栄養士	外来通院の方は 内科外来 入院中の方は 病棟看護師
	病気の話 薬の話 生活の注意点 (第2水曜日のみ「口腔衛生について」)	7月13日(水)・27日(水) 8月10日(水)・24日(水)			医師 薬剤師 看護師	
		昼食会	当面の間中止			
腎臓病教室 (要申込)	病気の話 食事の話 生活の注意点	7月21日(木) 8月18日(木)	14:00～15:00	3階討議室	医師 管理栄養士 看護師	主治医
禁煙教室	ミニレクチャー タバコがあたえる周りへの影響 (講師:保健師)	7月15日(金)	15:00～15:30	健診センター	医師 保健師	申込不要
	ミニレクチャー タバコは全身病 (講師:医師)	8月19日(金)				
安産教室 (要申込)	1コース 妊娠されたママへ～自分の身体と赤ちゃんをイメージしよう～	7月1日(金)	13:00～14:00	正面玄関 多目的室 7月22日(金)・8月26日(金) zoom開催	助産師 栄養士 歯科衛生士	産婦人科 外来
	2コース 自分の食生活と向き合ってみよう妊娠中の身体と生活	8月5日(金)	14:30～15:30			
	3コース 赤ちゃんとおぼろしいお産	7月8日(金)・15日(金) 22日(金)	13:00～14:00			
	4コース みんなで学ぼう! 母乳育児!	8月12日(金)・19日(金) 26日(金)				
赤ちゃんのにこにこご飯 (要申込)	食育教室 病院ホームページの『診療科・部門のご案内』>『栄養課』>『栄養管理、栄養指導の提供、チーム医療への参加』をご覧ください。	当面の間中止				
のびのびサークル	母乳育児期間中の母子のつどい 病院ホームページの『ご利用の皆さまへ』>『お産される方へ』>『【退院後】のびのびサークル』をご覧ください。 	7月27日(水) 8月24日(水)	10:00～11:30 (zoomへの入室は 9:40～)	zoom開催	自助サークル	病院ホーム ページ
赤十字 救急法基礎講習 救急員養成講習 (要申込)	一次救命処置(心肺蘇生・AED) / 搬送および救護 / 急病の手当/けがの手当(止血法・包帯法・固定法)	基礎講習: 8月17日(水) 養成講習: 8月18日(木)・19(金)	9:00～16:30	日本赤十字社富山県支部	救急法 講習指導員	日本赤十字社 富山県支部 451-7878